

令和7年3月10日

報道機関各位

長岡市地方創生推進部

広報・魅力発信課長



ふるさと納税の体験型返礼品の開発を目指して 「松田ペット」看板制作ワークショップを試験開催！

長岡市は、持続的な地域の活性化に向けて、ふるさと納税を活用した地域の魅力発信など、長岡ファンの獲得に取り組んでいます。

このたび、市独自の魅力的な観光資源の掘り起こしと関係人口の創出を目的としたふるさと納税の体験型返礼品の提供に向け、「松田ペット看板」の制作ワークショップを開催します。

このイベントを通じて、全国にファンをもつ本市の名物看板のブランド力を活用した体験型返礼品としての可能性を探ります。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

「松田ペット」看板制作ワークショップを試験開催

- | | |
|---------|---|
| 1 日 時 | 3月15日（土） 午後1時から5時まで |
| 2 場 所 | （株）松田ペット倉庫（長岡市三島新保3187付近） |
| 3 参 加 者 | 青柳謹一さん ^{※1} 、新稲ずなさん ^{※2} 、松田保夫社長、
長岡造形大学の学生6人 |
| 4 内 容 | 午後1時～ 松田社長・青柳さん・新稲さんの紹介
新稲さんによる松田ペット看板の歴史講座
青柳さんによる看板の制作講座
午後2時～ 青柳さんの指導による看板の制作作業
（サイズは45cm×90cm、180cm×360cmの二種類）
午後4時～ 講評および意見交換 |



※1 青柳 謹一（あおやぎ きんいち）

長岡市三島地域出身、現在は埼玉県川越市在住、83歳。デザイナーとして、さいたま市のロゴマークなど、現在まで20点余りのデザインを制作。松田ペットの松田社長と同郷で古くからの友人でもあり、これまで初代看板絵師である近藤忠男さんと分担しながら看板制作をしてきた。

※2 新稲（にいな）ずな（ペンネーム）

東京都目黒区出身、2015年夫の出身地である長岡市へ移住。長岡市の名物看板「松田ペット」にハマリ、全国の松田ペットの看板愛好家たちの集いである「松田学会」を主宰。2018年同人誌「例の看板 フォトグラフ・コレクション」を出版し、「松田ペット看板」を全国に広めるきっかけを作る。

問い合わせ：広報・魅力発信課 佐藤

TEL 0258-39-5151